

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課 (0897) 65-1301

海洋教育『海っこタイム』はじまるよ～！(9月13日)(多喜浜小)



塩の妖精とソルティーちゃん

多喜浜小学校では、従来の塩の学習をさらに拡充させて行う『海っこタイム』がスタートしました。全校オリエンテーションに、塩の妖精さんとソルティーちゃんが登場しました。

開会行事では、宇高先生が進行役となり、妖精さんやソルティーちゃんとの会話を通して、多喜浜塩田の歴史に触れながら、多喜浜と海とのつながりについて、再確認しました。うなずきながら聞く高学年の姿に、これまでの学びがしっかりと身に付いていることが分かりました。



ものしり宇高先生



愛媛県総合科学博物館の小林先生

海岸に打ち上げられたナイロン袋やプラスチック容器の写真と海底を優雅に泳ぐ魚群や美しい珊瑚の写真との対比で、問題提示。

午後からは、全校で黒島海岸へ移動。磯に生息する生物やごみの状況など、自らの肌で感じる体験活動です。事前に、愛媛県総合科学博物館の小林先生から、観察のポイントや注意事項を聞きました。海は、危険な場所でもあることを理解してから活動に入りました。

安全面にも留意し、磯活動を行いました。小林先生の事前の注意事項を子どもたちは真剣に聞いていました。このような体験活動が今後の学習につながっていきます。



磯活動の注意事項を聞く全校児童



異学年ペアでの磯活動

【参加した児童の感想です。】

- くろしまかいひんこうえんで、ぼくは、やどかりをみつけました。いっぱいいました。かわいかったです。うみは、つめたかったし、きれいでした。(1年)
- 私は、海にはたくさんの生き物がいて、生き物たちがプラスチックなどを食べているというのを初めて知りました。生き物たちがぐらしやすいかん境をつくるのが大切だと改めて感じることができました。(5年)

出前授業『SDGs カレー買い物ゲーム』(9月25日) 惣開小学校



愛媛大学教育学部
准教授 竹下浩子先生
にお越しいただき、消
費者教育の観点から、
私たちがSDGs達成に
向けてできる身近なこ
とを考えました。

真剣なまなざしの6年生

冒頭、ケニアの環境保全活動家のワンガリ・マータイさんの紹介がありました。

彼女は、環境分野で初めてノーベル賞を受賞された方で、日本の『MOTTAINAI (もったいない)』を世界に広めた方です。日本でも、食品ロスが大きな問題となっています。このままでは、持続不可能な状態なのです。

日本では、年間約2,759万トン(H28)の食品廃棄物が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)は、なんと約643万トン!

これは、世界中で飢餓に苦しむ人々のために向けられた世界の食糧援助量約380万トンの1.7倍に相当します。食品ロスを日本国民一人当たりで換算するとお茶碗約一杯分(約139グラム)の食べ物が毎日捨てられていることになるのです。

本当に『もったいない』ですね。食べ物は人を笑顔にします。幸せを与えます。元気を与えます。そのどれも行えないまま捨てられていく食べ物。そのようなことを念頭に置き、子どもたちは頭をフルに使って、カレーを作っていくのです。こんなに真剣に話し合い、環境を含めた様々な観点から材料を厳選し、カレーを作る子どもたちの姿、大人の方が学ばされます。

学年 組 名前

今日の目標: 食べ物の をなくそう!

今日は、友のみんなとカレーパーティをすることにしました。
下の条件を守って、買い物にいきましょう!

条件1. 総額は1000円まで
条件2. 誰の人、全員が食べられるようにすること。
条件3. 肉は、牛肉か7分肉のどちらかをえらぶこと。

1. カレーライスに使う肉(牛肉か7分肉)、じゃがいも、たまねぎ・にんじんをえらびましょう。えらんだ理由もかきましょう。

えらんだもの	えらんだ理由	他の班の意見
肉		
じゃがいも		
たまねぎ・にんじん		

2. 2030年までに世界中の人が達成しようとしている目標は、○○○○

3. あなたは、これからどのようなことに気を付けて買い物しようと思いますか?

授業で使用したワークシート



【授業後の児童の感想です。】

- もったいないという言葉を考えながら、買い物をしていきたい。また、買い物を通して、被災地支援にも協力していきたい。
- 値段が安いから買うとかじゃなくて、量や賞味期限、消費期限や地産地消のことなどを考えて買い物をしたい。

わたしたちにできることは?

• 食べきる
• つかいきる

↓

たべものに感謝